

資料1

■ 第1回検討委員会での質疑応答について

		意見・質問	回答
市民説明 について	説明会等 の実施 について	急いでいる印象を受けた。地域の方の意見を聞きながら進めてほしい。	今回の改訂の背景として総務省からの通達により、令和3年度末までに改訂を行わなければならない。また、本年度については、市の最上位計画である総合計画、行政改革大綱の見直しを行っており、それらと合わせて、本計画の改訂を行いたい。  本計画は、総量の目標を設定するものであり、その中で、パブリックコメント、地域委員会や区長会等での説明会を行う予定であり、今後は、個別施設計画策定時に具体の内容を示すため、その際により丁寧に説明を行っていきたい。
	説明内容 について	今後40%縮減の数字のみが「ひとり歩き」してしまふことが懸念される。きちんと40%の理由について、市民に対して広く説明会を行い、やむを得ないと理解していただいたほうがよいのではないか。  施設の減少だけでなく、前向きな話も必要かと思う。前向きな話がないと、ネガティブな内容なので感情的に賛成しにくいのではないか。  減らすばかりでなく、まとめることにより施設が高機能化する等具体例を示し、可能な限り説明していったほうが良いのではないか。何か具体的に検討していればお聞きしたい。	これまでの意見収集として、令和元年度にワークショップを開催し、その中で若者の意見を聴くべきとの意見を踏まえ、令和2年度に市内3校の高校2年生にアンケートを実施している。アンケートの結果は、公共施設の統廃合について、回答者の91.1%が賛成である又ははやむを得ないと回答であった。  来年度に予定している個別施設計画の策定の中で、具体の施設名を出して具体の方針を決めていく。その際は、民間譲渡、類似機能共有化、複合化・多機能化等の手法を組み合わせて、施設が少なくなつた場合でも、施設が大きく高機能になると考えたと考えており、今後具体的に検討していききたい。

		意見・質問	回答
市民説明 について	その他	北杜市小・中学校適正規模等審議会において、来年3月の 答申へ向けて議論を進めているため、そちらの動きに配慮 して慎重に進めてほしい。	教育委員会と連携し、答申内容にも配慮しながら、進めた い。
		生活圏と旧町村がズレている部分や旧町村への住民感情も あり、旧町村に対する心情を融和していくよう配慮してほ しい。	
		指定管理により施設が使いにくくなったとの声を聞くこと もあり、今後計画を進める中で地域の利便性が減少するこ とも懸念されるため、住民説明を丁寧に行ってほしい。	丁寧な説明を心掛ける。 本計画は、総量の目標を設定するものであり、その中で、 パブリックコメント、地域委員会や区長会等での説明会を 行う予定。今後は、個別施設計画策定時に各施設の今後の 方向性を示していくため、その際により丁寧な説明を行っ ていく。
		丁寧に説明をし、理解してもらおうほかないと感じる。反発 覚悟で説明を尽くして、乗り切ってほしい。	
		公共施設の議論においては、単に縮減、取り壊すだけでは なく、地域をどうしていくかといった、まちづくりや密接 に関連していると感じている。北杜市の目指すまちづくり を指すために、公共施設をどのようにしていくといった 議論・説明を進めてほしい。	今年度策定中の総合計画と関連づけ、目指すまちづくりを 実現するために、公共施設の最適配置を検討する。その中 で、施設を統合することとで、新たな施設整備や高機能化を 図れることも説明していきたい。

意見・質問		回答
縮減目標 について	40%縮減 について	40%縮減の目標設定に至る過程を丁寧に説明していきたい。
	その他	人口減少・少子高齢化が進む中で、税收減、扶助費増加が見込まれる中、県内の同規模自治体においても、公共施設が縮減されていく流れとなっている。地域の意見を聞く中で、民間譲渡、類似機能共有化、複合化・多機能化等の手法を組み合わせて検討する。
現計画 について	内容 について	現計画では、法律で設置を義務付けられている学校や保育施設、幼児・児童施設は検討の対象外となっているが、今回の改訂では、それらの施設も対象に含めている。現在策定中の総合計画にそって市民ニーズに沿った新たな施策を展開していくにあたって、公共施設全てに関して最適配置を検討する必要があると考えている。
	進捗状況 について	一例として、清里小と高根北小学校を閉校し、高根東小学校へ統合を行っている。今後30年間に更新時期を迎えるなお、現計画については、今後30年間に更新時期を迎える施設の30%縮減であり、施設全体に対して7%縮減の目標となっている。